

熊本県看護連盟

# ひごつばき

HIGO TSUBAKI

vol. 33

H31.2.6発行



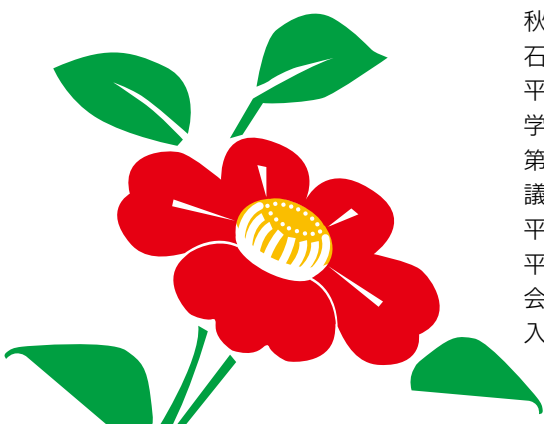
金栗 四三像(新玉名駅)



ルフィー像(熊本県庁)

## CONTENTS

会長あいさつ(重松節美・草間朋子)	2P
国会議員たより(あべ俊子・たかがい恵美子・石田まさひろ)	3P
国会議員たより(木村やよい)・県協会長あいさつ(嶋田晶子)	4P
秋の叙勲・看護職代表の国会議員が要職に就任されました・看護連盟入会受付	5P
石田まさひろ議員が施設訪問	6P
平成30年度 熊本県看護協会・熊本県看護連盟合同研修会	7P
学童期のこどもを持つ看護職の現状	8~9P
第5回看護職と県議会議員との交流会	10P
議員活動報告・看護連盟の対外的活動	11P
平成30年度 熊本県看護連盟会員研修会開催	12~13P
平成30年度 熊本県看護連盟リーダー研修・平成30年度 県役員・支部役員等研修	14P
会員のひろば	15P
入会会員数・お知らせ・編集後記	16P



## 会長あいさつ



熊本県看護連盟  
会長  
重松 節美

あけましておめでとうございます。会員の皆様方にはご清祥に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。熊本は早々に和水町を震源とする震度6弱の地震があり、3年前の熊本地震を思い出しました。その後、鹿児島等にも震度4があり、願わくはこれからの日々平安でありたいものです。

さて、2019年の今年は、平成から新年号に移る記念すべき年になります。また、看護職にとりましても重要な年を迎えます。熊本県看護連盟は看護職代表の石田まさひろ参議院議員が、国政で精力的に更なる活動ができますように精一杯応援・支援して参りたいと思います。本年4月までの平成の日々を有意義に活用することが、新年号を迎えるこの夏に大きな慶びを得るものと存じます。

ところで昨年は、会員の皆様に4人(あべ俊子・木村やよい衆議院議員、たかがい恵美子・石田まさひろ参議院議員)の看護職国会議員の活動を知って頂くために、総計8回に亘って来熊をお願いしました。県看護協会との合同研修会、施設訪問、県連盟総会、交流会(看護教育者、助産師会、訪問看護管理者等)、国政報告会、ポリナビin熊本等の機会を捉えて会員との接点の場を図りました。中でも1日に10~11ヶ所の施設訪問等を行った際には、「会えて良かった」という会員の笑顔に安堵したことを思い出します。

また、昨年11月、第5回自由民主党熊本県議会議員との交流会を開催し「学童期の子供を持つ、看護職の現状」について、アンケート調査結果の報告を致しました。今後、少しでも看護師不足の解消に繋がればと考えます。

看護職の未来を拓くのは看護職自身です。熊本県看護連盟は「地道にコツコツ」をモットーに県役員・支部役員・リーダー、更には青年部、広報委員が、会員と一丸となって日々の活動に頑張っ参ります。

会員の皆様方のご支援・ご協力に感謝致します。

## 日本看護連盟会長あいさつ



日本看護連盟  
会長  
草間 朋子

春の訪れを感じる季節となりました。

4月には統一地方選、7月には第25回参議院選を控えた重要な年を迎えました。

昨年は、あべ俊子先生が外務副大臣、たかがい恵美子先生が厚生労働副大臣、石田まさひろ先生が厚生労働委員会委員長に就任され、看護連盟にとっては最高にうれしい年となりました。各先生方の実力はもとより、みなさまの日ごろの活動の成果を通して、20万人の会員からなる日本看護連盟および各都道府県の看護連盟の行動力、力強さを社会に示すことができましたことに心から感謝申し上げます。

日本看護連盟は今年、記念すべき60周年、還暦を迎えました。「看護はひとつ」の旗のもと、目標に掲げる結果を確実なものとし、みなさまの身近な課題を一つひとつ解決していく年にしましょう。

選挙権は国民に与えられた権利です。参議院全国比例は、看護職の代表を選出できる絶好の機会です。「選挙に行こう」を合言葉に、「ベッドサイドから政治を変える」のスローガンの下で、看護職の手、力で一つひとつ看護政策を実現し、専門職としての資質を保ち、働きやすい環境整備に向けて、国会議員の先生方に実力を発揮していただける環境を提供できる活動をしてまいります。

今年の干支は「イノシシ」年です。猪突猛進ではなく、時にはちょっと立ち止まり、そして考える年とし、力強さを秘めた看護職・看護連盟であり続けましょう。

## 国会議員たより



衆議院議員  
あべ 俊子

皆様お健やかに新春をお迎えのことと存じます。  
 熊本県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。  
 昨年は内閣改造に伴う人事で、外務副大臣を拝命いたしました。安定した外交による国の安全は社会保障の基礎と考え、本年も引き続き、頂いた公務に邁進する所存でございます。  
 新年を迎え、我が国が抱える2025年問題への思いが一層強くなるのを感じております。看護の対象は子どもから高齢者、病院から地域と、さらに拡大し、求められるケアも多様化しております。社会の大きな変化から国民の健康を守るためには、看護師皆さまのお力が本当に必要です。やりがいのある看護を、いつまでも続けることができる制度づくりに、全力で取り組んで参りますので、引き続き忌憚ないご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。  
 皆様のご健勝と貴連盟のますますのご発展を心より祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



参議院議員  
たかがい 恵美子

熊本県看護連盟の皆様には平素より大変お世話になりまして、感謝申し上げます。  
 寒さの中にも春の足音が聞こえてくる季節となりました。皆様におかれましては、健やかに過ごしのことと存じます。  
 さて昨秋の内閣改造において、厚生労働副大臣を拝命しました。就任に際しては多方面から、心温まる激励を賜り身に余る光栄に存じます。平素にも増して、細部に心を尽くし職責を果たす所存です。  
 本年は皇室典範特例法により今生天皇が退位され、新たな御代に移ることとなります。また、2040年を照準とする社会保障制度構築のため、さらなる改革に着手する年でもあります。  
 いのちの最前線に立つ看護職にとって、まさしく働き方改革元年とも呼ぶべき重要な転換点となることが予測されます。一人一人の個性が活かされ、社会保障の実現者として生涯に渡る社会貢献ができるよう、これからも、しっかり現実を踏まえた対策を実現して参ります。  
 みなさまの真心に改めて感謝を申し上げますとともに、新年が健やかな笑顔に包まれるよき年となりますことを、心よりご祈念申し上げます。



参議院議員  
石田まさひろ

熊本県看護連盟の皆様、新年おめでとうございます。平素からの温かいご支援に改めて感謝申し上げます。お陰様で先の国会より、参議院厚生労働委員長を拝命いたしました。保助看法を含む厚生労働法制の真ん中で仕事をしています。委員会はまさに与野党論戦の場であって、国会議員の主戦場と言えます。しかし、国民にとっては議論が深まり法案がより良いものになることこそ重要ですから、委員長としてしっかりとその職責を果たしていく所存です。  
 この5年半、国会のない時は土日も含めて看護の現場を訪問し、皆様の声を国政に反映させて参りました。特に今は書類・記録の削減に取り組んでいます。皆様からいただく生の声が私の原動力です。今年もどんどんお聞かせください。皆様が元気になる政策を推進することで、日本を元気にしていきます。

## 国会議員たより



衆議院議員  
木村やよい

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は厚生労働委員会で5月2日、6月8日、12月5日の3回質問しました。

12月5日は、看護職のハラスメント対策、レセプト作業の煩雑さを訴え、妊婦加算の見直し、性犯罪から児童を守るための制度づくり、依存症回復・治療施設や救護施設の在り方等について質問しました。

いよいよ4月より働き方改革関連法が施行されます。看護師確保等基本指針の改定や、勤務間インターバルの適正な確保・深夜業の回数の上限の設定を引き続き求めてまいります。

これからも看護職議員として、看護と政治をつなぐ役割を果たし、現場の声を政策に反映してまいります。何よりも、光の当たらぬところにあたたかな光を当てていく政治を忘れずに、女性の視点、母親の視点、看護職の視点を生かし「誰もがより健康で活躍できる社会」の実現に向け、皆さまのご期待と信頼に応えてまいります。

ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 看護協会会長あいさつ



熊本県看護協会  
会長  
嶋田 晶子

新春のお慶びを申し上げます。

熊本地震から早2年9ヶ月が経とうとしております。新年の1月3日の和歌山を中心とする震度6弱の地震には皆様驚かれたことと存じます。幸い大きな被害も無くほっと胸をなでおろしたところです。昨年も全国で大きな災害に見舞われた年でした。改めまして被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

今年は新しい天皇陛下の即位に伴い元号が変わり新しい時代を迎えます。このような年は社会全体が大きく変化するとも言われています。国内外の情勢を見ても課題山積の中、明るい年であることを願わずにはられません。

人生100年時代を迎え、昨年9月16日に総務省統計局が高齢者の推計人口を発表しました。70歳以上が初めて総人口の20%を越え、高齢化率は1950年以降一貫して増加しており、国立社会保障・人口問題研究所の推計では2040年には35.3%になると言われています。

また、高齢化に伴う地域包括ケアシステムの構築に向け保健医療福祉の連携が不可欠で介護予防に加え、健康寿命の延伸に向けた取り組みが進められているところです。

さて、熊本県看護協会の本年度の事業も3分の2が終わりました。重点事業として取り組んでいます地域包括ケアシステムの構築の推進につきましては、2月2日(土)に「看護がつなぐ地域包括ケアフォーラムin八代」を八代市で開催いたしますのでぜひご参加ください。次年度に向けての事業計画の策定も進めているところですが、昨年11月には看護連盟と共に31年度に向けた県への予算要望を行いました。協会の活動を進める上では連盟のバックアップは大きな支えです。

昨年は嬉しいことに、たかがい議員は厚生労働副大臣に、あべ議員が外務副大臣、石田議員が参議院議員厚生労働委員長と看護の代表が要職に就かれ、がんばっていただいています。応援していきましょう。

最後に、今年は猪年です。干支では己亥(つちのとい)と言います。次の段階を目指す準備をする年、内部の充実を心がける良い年と言われています。成果を出すべく猪突猛進していきたいと思っています。また選挙の年でもあります。高い得票を目指し、皆さんの力を結集してまいりましょう。

本年も皆様にとりまして良い年となりますよう心から願っています。

平成30年 **秋の叙勲** 受章おめでとうございます

◆ 瑞宝単光章 **工藤 秀子様**  
 (元 熊本赤十字病院 副看護部長)

永年のご活躍に敬意を表し心よりお祝い申し上げます

看護職代表の国会議員が国会と行政の要職に就任されました。今後、ますますご活躍されますことをお祈り申し上げます。



平成30年10月、第4次安倍改造内閣において、あべ俊子衆議院議員が外務副大臣に、たかがい恵美子参議院議員が厚生労働副大臣に就任されました。また、10月24日に第197回臨時国会が始まり、石田まさひろ参議院議員が厚生労働委員長に就任されました。看護連盟が応援する看護職国会議員が、同時に要職に就かれたことは快挙といってよく、大変喜ばしいことです。重責を担う看護職国会議員の、ますますのご活躍を期待しています。



あべ俊子  
外務副大臣



たかがい恵美子  
厚生労働副大臣



石田まさひろ  
厚生労働委員長

平成31年度の看護連盟への入会を受付けています



会員の目標数は7,700人です。  
 できるだけ3月中に入会の手続きをよろしくお願いいたします。



熊本県看護連盟事務局より

# 平成30年12月25日(火) 石田まさひろ議員が施設訪問



石田議員は、9時20分の空港到着から、19時の交流会終了まで、ぎっしり詰まった行程で、県央・県北の施設を廻りました。会長、副会長2人、幹事長が同行し、午後の途中からは県幹事、支部幹事の2人が合流しました。

まず、自民党県連を表敬訪問し藤川幹事長にご挨拶。途中、県庁の「ルフィー像」を見て記念撮影し、7か所の病院を訪問して看護職や病院関係者の歓迎を受けました。議員は国政報告をし、看護現場の細かい情報が欲しいと、看護職からの意見を求めていました。玉名の交流会は夜間にも関わらず、30名出席があり、会員と直接意見交換ができました。

なお、病院訪問や交流会で次のようなことが話し合われました。  
循環器疾患基本法制定について、監査での指導について、働き方改革について等。

看護職の場合、労働密度の高さが問題である。業務量を減らすには、看護必要度や記録の見直しをする。交代制を見直すなど発想の転換も必要。管理職の働き方、健康管理も重要である。

1 自民党熊本県連



2 熊本中央病院



3 済生会熊本病院



4 熊本託麻台リハビリテーション病院



5 熊本赤十字病院



6 熊本リハビリテーション病院



7 熊本セントラル病院



8 合志第一病院



9 玉名市民会館

交流会



熊本中央病院



済生会熊本病院



熊本託麻台リハビリテーション病院



熊本赤十字病院



熊本セントラル病院



熊本リハビリテーション病院



合志第一病院



玉名市民会館

## 平成30年度 熊本県看護協会・熊本県看護連盟合同研修会



日 時 平成31年1月27日 10:30～15:20  
 場 所 熊本県看護研修センター  
 講 師 馬場成志参議院議員  
 石田まさひろ参議院議員  
 参加者 136名

### 馬場議員時局講演：

『当選当初、農林水産、厚生労働委員会の委員となった。石田議員と参議院の同期で、議院運営委員長等石田議員と同じ役職の経験もあり、日頃から良く連携し協力し合っている。国会では様々な対策について議論がなされるべきである。』

野党はまとめて、与党の足りないところを質問し、与党も謙虚に受け入れるところは受け入れるといった健全な議会運営がなされるべきであるが、野党間では混乱している状況でありまとまりがない。第198回通常国会は、1月28日から6月26日まで行われ、私も質問に立つこととなっている。』  
 馬場議員は、1月29日に質問に立たれました。

### 石田議員国政報告：

『現在は厚生労働委員長職にある。委員長として「脳卒中・循環器病対策基本法」等三つの法案を12月の国会に提出し、通すことが出来た。国会では、与野党の対立があり、与党間の調整とともに部会では深い活発な議論をする。科学技術が急速に発展しており、議員活動の中で最先端の情報が入ってくる。』

看護の現場は何十年も同じことをやっていないか。例えば、24時間測定が出来る時代に、1日1回脈拍測定をしている。看護はサイエンスである。新しいことへのチャレンジには新しいマインドが重要である。これから活用するのはエコとサーモスタット。介護は、人手不足の中で、AIとかを使ってデータの取り方が工夫されている。

看護業務の多くが診療報酬の枠に縛られている。現在の社会保障費の状況では診療報酬の増加は厳しい。今回、7対1を死守できたことは奇跡的である。職場環境改善には、増員よりも記録等の業務を減らすために制度を変える必要がある。

過労死の問題もある。教師、ITプログラマー、ナースの順に多い。ナースはうつ病が多く、ドクターや患者等からのハラスメント(カスタマーハラスメント)だと考えられる。1月28日から始まる国会で、ハラスメント法案が議論されると思う。』

議員が発言力を持つことは、看護の未来のために必須で、高得票で当選させることの必要性を痛感した研修会となった。

なお、研修会の前後に二つの会を開催したので、以下概要を述べます。

○「熊本県看護協会・熊本県看護連盟支部長交流会」は、午前10時30分から12時まで、看護研修センターで行われ、38名が参加しました。GWのテーマは自由でしたが、「看護協会と連盟の連携をどうするか」が主な議論の内容でした。石田議員の講演もあり、改めて看護協会と連盟が一体となった活動の必要性が確認されました。

○「在宅ケアに携わる看護職交流会～石田まさひろ議員との交流会」は、16時30分から1時間、ホテル熊本テルサで行われ、28名が参加しました。議員から在宅に関する情報提供のあと、出席者から現場の問題等が報告されました。



# 学童期のこどもを持つ看護職の現状

現場の声の収集や研修時のアンケートに、子育て中の看護職や子育て中の看護職を抱える管理者の悲痛な声が多数聞かれた。乳幼児期に対する支援は進んできているが、学童期のこどもをもつ看護職の現状はどうなっているのか。現状を知り解決の糸口を見出すために、会員施設の看護職・管理者に質問紙による調査を行った。

忙しい中 短い期間にも関わらず多くの方々にご回答をいただき感謝致します。

## 1. 子育て支援に関する現状調査

対象：看護連盟会員施設 157 施設 ①管理者 ②年長～小6の子を持つ看護職

調査期間：平成30年10月26日～11月9日

回収状況：管理者【質問紙①】送付施設 157 回収施設 109 回収率 69.6% 回答管理者数 319

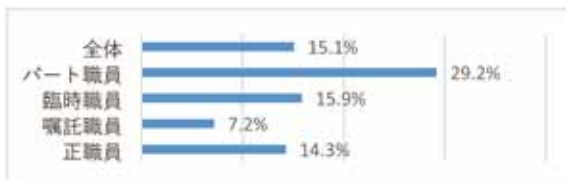
看護職【質問紙②】対象数 1,967 回収数 1,376 回収率 84.6% 有効回答 1,210  
回答率 89.9%

## 2. 調査結果

### ①看護職員の状況

	総数	年長学童	育短	産・育休	夜勤免
正職員	11,557	1,651	452	567	741
嘱託	376	27	1	1	14
臨時	233	37	1	5	11
パート	863	252	7	7	102
総数	13,029	1,967	461	580	868

### ②学童期の子を持つ割合（年長～小6）



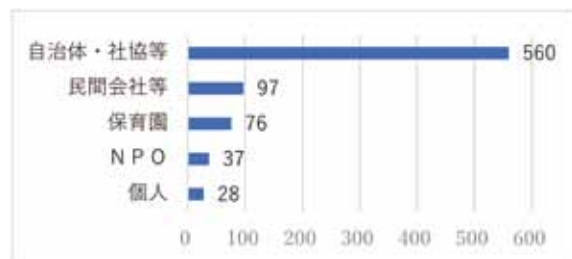
### ③学童保育等の利用状況



### ④学童保育を利用しなかった理由（N:324）



### ⑤学童保育の設置主体（利用者 806 回答数 798）

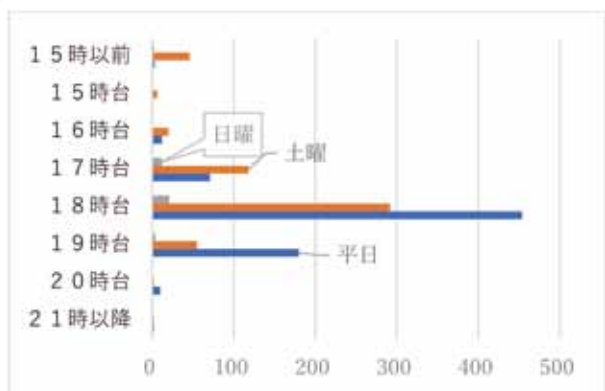


### ⑥学童保育等の実施場所





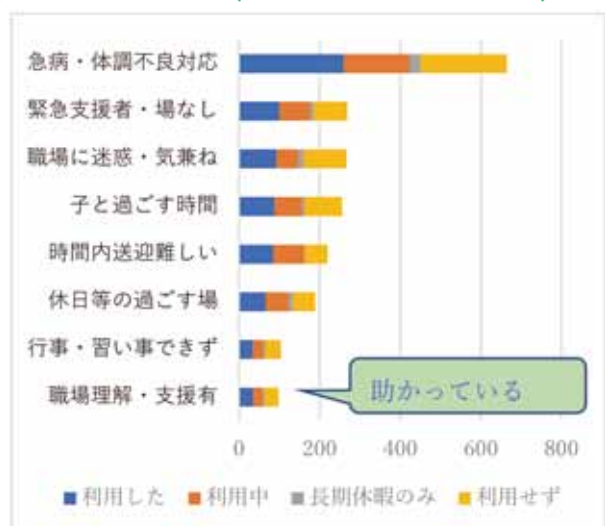
⑦学童保育等の終了時間



⑩施設や管理者が工夫していること (n:280 複数回答)



⑧子育てで困ったこと (看護職 N:1006 複数回答)



⑪どのような解決策があるか (管理者 218 複数回答)



⑨管理者が困っていること (選択・記述)



3. 課題

【地域の取り組み・行政への要望】

- 学童保育時間の延長 (18時終了を19時まで延長)
- 病児保育の拡大
- 学校休業時の学童保育施設の充実
- 地域における放課後預かり
- 子育て支援充実施設への助成



【施設や現場での取り組み】

- 子どもの病気を親が看病できる体制 (施設内のリリーフ体制、院内保育や預かり)
- 休日の施設内・施設近隣での子ども預かり
- 業務整理と改善

## 第5回看護職と県議会議員との交流会

平成30年11月30日(金) ホテル熊本テルサ テルサホールにて

自民党の県議会議員34名と県看護協会長が出席され、看護職は、連盟役員、支部長等36名でした。重松会長の挨拶のあと、前川收自民党県連会長、小杉直県議団団長、嶋田晶子看護協会長にご挨拶をいただき、引き続き学童期の子供を持つ看護職の現状について工藤幹事長が発表しました。(ひごつばきページ8・9ページに掲載)

意見交換会は、県議の選挙区を中心にグループを6つに分け、看護職も地域毎に分かれて同席し、活発な意見交換ができました。以下、話し合いで出た主な意見です。



### 看護職

- ・小学4年生からの部活がなくなり、放課後の子供たちの居場所がなくなった。
- ・運営も様々、助成があっても、子供の数で、建物を増築するなどお金がかかる。
- ・学童保育の時間が18時迄なので、仕事で間に合わない。延長して欲しい。
- ・学校内には学童保育は出来ない。学童保育は厚労省、学校は文科省管轄である。
- ・学童保育場所の増加、病児病後保育場所の確保と拡大を。
- ・子育て中の職員が働きやすい環境を整備して欲しい。
- ・夜勤の大変さ、処遇改善の必要性和県内定着について等、看護職の現状報告。

### 県議会議員

- ・場所は確保できても人がいない。ぜひ院内でやってほしい。
- ・企業がやっているところもある。お寺や道場等を利用する方法もあるのでは。
- ・具体的にどの部分に援助が必要か。どこをどうして欲しいか教えて欲しい。
- ・生まれた時から死ぬ時までお世話になる看護師、手当ては上げないといけない。
- ・学童保育の件は、働く人皆の問題であり、今後しっかり取り組んでいきたい。
- ・幾つもの問題、課題を自分達で解決できること、議員や国に課題として提案すること、一つひとつ整理していく方がよさそうである。



統一地方選挙・参議院選挙ガンバロウ！

### 熊本県議会を傍聴して

熊本3支部支部長 寺田美智子

平成30年12月7日、重松会長、齋所支部長、萩原支部幹事、池田支部幹事長、支部長の寺田5名で、熊本県議会議員、竹崎和虎議員の一般質問を傍聴した。県連盟では役員と県議会議員との交流会が11月30日に開催された。学童保育のアンケート結果を報告するとともに、役員と各地域の選出議員で看護の抱える問題や意見交換をおこなった。その時の話を、県議会の質問に多く取り上げていただいたことに非常に驚いた。議員の存在を身近に感じ、重要性を認識できた。

議会質問内容は、広域防災拠点構想における横軸の整備について、熊本市西南部地域の振興について(農業の生産性向上対策・水産業の再生・道路網整備)、看護職員確保について、若者の政治参加を促すための高校教育における取組についてであった。看護職の確保対策は勿論、地域の現状についても、県の取組を聞く機会を得たことは、非常に私自身の考え方や視野も広まったと感じる。最後に補足で学童保育の問題を考えてほしいと議員が追加発言されたことも感激した。

## 議員活動報告より



### あべ俊子 衆議院議員

昨年の夏は、日本中が生活を脅かす危難に次々と見舞われ、命を守るために国が何をなすべきかを改めて考える契機となった。被災地視察で現場の声を聞き、復旧事業に必要な情報を政府や県に伝えることができた。街頭での国政報告、ミニ集会や行事への参加を通じて、地元の生の声を聴き早期復興を支援したい。昨年10月に外務副大臣に就任したが、世界情勢が激動する中で、「外交は安全保障の礎」であることを念頭に活動してゆく。



### たかがい恵美子 参議院議員

12月6日「G20、女性活躍、そしてSDGsゴール5へ集会」に出席。ジェンダー平等と女性エンパワーメント実現について議論を交わした。

12月23日天皇誕生日祝宴の儀に厚生労働副大臣として出席した。天皇陛下より今年起きた度重なる災害の一刻も早い復旧の祈り、また国民に衷心より感謝するとの御言葉を賜り、平成の御代を振り返り、感謝の気持ちで胸が熱くなった。

国立国際医療研究センター創設150周年記念式典に出席。国境を越え、人の移動が加速する中で、国際的な医療・研究・人材育成を通じた協力を担う同センターの役割が高まっていくものと感じた。

妊婦加算の凍結へ、授かる生命を安全に迎え入れ、健やかに育める社会づくりのためにしっかりと働きます。



### 石田まさひろ 参議院議員

平成最後の新年一般参賀で陛下は「年頭に当たり、わが国と世界の人々の安寧と幸せを祈ります」とあいさつされた。一人一人が日々「幸せを実感できる」社会を創っていくのは国会議員の使命でもあり、年頭、私も改めて意を新たにしたい。

年末年始も現場の声を聞きに全国をまわっている。今年に入ってからでも移動は日本の往復距離6000キロを超えた。

今後も、現場から頂いた貴重な声を国政の場に届けていく。



### 木村やよい 衆議院議員

衆院厚労委員会で「妊婦加算の見直し」について質問を行った。慎重な対応や配慮が求められることからスタートした妊婦加算。自己負担や加算について批判があった。「産科との連携などの『診療の質』を評価するしくみにしては」と提案し厚労大臣が「速やかに凍結する」と発表。2年後の診療報酬改定に向けて廃止を含め議論していく。

また「性犯罪から児童を守るための制度づくり」として、子どもにかかわる職種に就く者は犯罪歴の有無を提示するシステム(DBS)をわが国でも検討すべきではないかと問いかけた。各省庁にまたがる話なので政治の力で解決すべき問題と考え、引き続きこの問題には取り組んでいく。

## 看護連盟の対外的活動（期日：平成30年10月～平成31年1月中旬まで）

期日	名称	会場	出席者	内容
H30・10月12日(金)	「松村祥史君の更なる飛躍を期する会」	ホテル日航熊本	重松 寺田 工藤 岩城	
H30・10月14日(日)	木原稔政策セミナー	ホテル日航熊本	重松 高島 矢野 笹井	講師：森本 敏氏(拓殖大学総長・元防衛大臣)
H30・10月25日(木)	大西一史を励ます会	熊本ホテルキャッスル	矢野 吉澤 工藤 村田	来賓挨拶：山東昭子氏(参議院議員) 藤松健三氏(参議院議員)
H30・11月09日(金)	九州中央リハビリテーション学院戴帽式	九州中央リハビリテーション学院講堂	重松	式典 祝辞
H30・11月20日(火)	女性のための政治大学	ホテル日航熊本	矢野 笹井	講演：学校教育に期待するもの、もとめられるもの 講師：潮谷義子氏(前熊本県知事) 主催：熊本県議会議員 岩下栄一後援会女性部会
H30・11月23日(金)	熊本県(荒尾市支部)講演会	ホテルヴェルデ	税田 福原 荒田	時局講演会 講師：加藤勝信氏(自由民主党 総務会長)
H30・12月02日(日)	各種団体からの要望聴取の会	熊本ホテルキャッスル クリスタルホール	看護協会：嶋田 井手 重松 山本 工藤 笹井	県の来年度予算についての説明 来年度の統一地方選及び参院選について
H30・12月07日(金)	県議会傍聴	熊本県議会棟	重松 萩原 齊所 寺田	竹崎和虎議員一般質問 看護師確保等について
H30・12月14日(金)	故園田博之議員(衆)のお別れの会	嘉島町民会館	重松 山本	平成30年11月11日ご逝去
H31・1月11日(金)	新春の集い	AN CPホテル 熊本ニュー スカイ	重松 高島 矢野 村上 工藤	来賓挨拶 加藤勝信氏(自由民主党総務会長)

## 平成30年度 熊本県看護連盟会員研修会開催

第1回 H30年11月17日(土) 熊本赤十字病院 多目的ホール

第2回 H30年12月5日(水) ホテル熊本テルサ テルサホール

講師：友納理緒先生 土肥法律事務所 弁護士・看護師

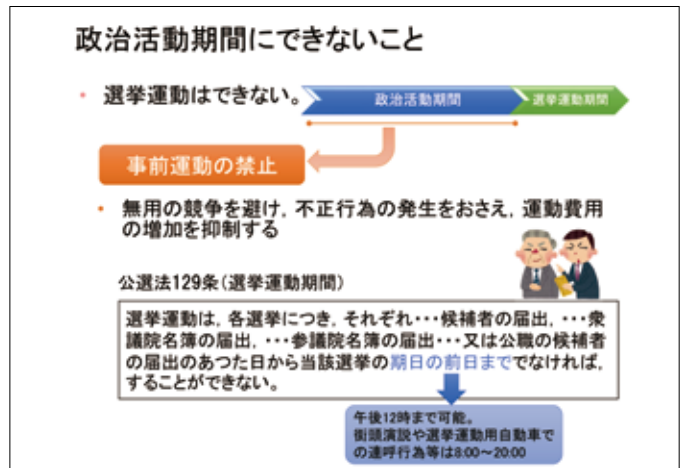
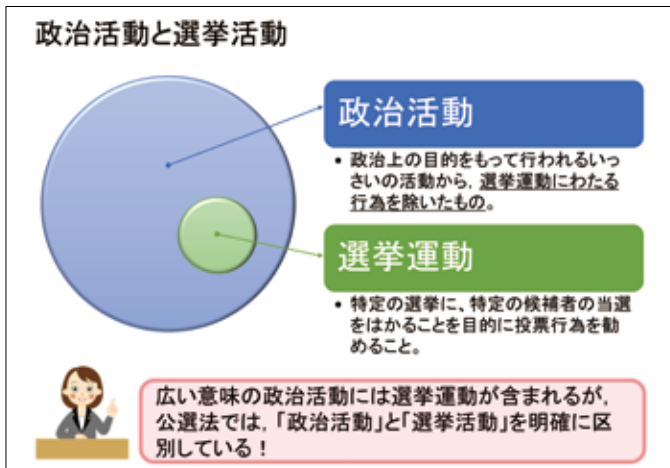
目的：国政選挙の仕組みを知る「安心して活動するために」 ～選挙違反防止対策～

看護の現場を変えるためには、現場の声を上げることが大切である。看護協会の政策実現のために看護連盟は政治活動を行う。そのためには、法律制定が行える国政の場に組織代表の国会議員を送り出すことが重要である。

「選挙違反行為」をしっかりと認識し、選挙について正しく学び、できること、出来ないことを知ったうえで、思い切り応援をし、高得点にて国政に送るための活動を学んだ。また、ウェブや電子メールを利用したネット選挙を効果的に行う活動方法も学んだ。

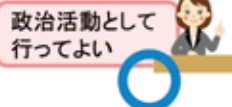


講師：友納 理緒 先生



友納先生講義資料より

### 選挙運動に類似する行為



#### 立候補準備行為

- 選挙人に働きかける**以前の準備行為**(内部的準備行為)
- 具体例

- ① 政党の公認を求める行為
- ② 立候補の瀬踏み行為(有力者との面談、演説会を開催し反響を見るなど)
- ③ 候補者の選考会・推薦会の開催行為
- ④ 団体に推薦依頼する行為
- ⑤ 選挙事務所・演説会場・自動車等の借入れ内交渉
- ⑥ 立看板・選挙用ポスターの作成
- ⑦ 選挙運動員の依頼・労務者の雇入れ・仕事割当て
- ⑧ 選挙運動費用の調達
- ⑨ 「議会解散よろしく頼む」の打電 など



### ウェブや電子メールを利用した選挙活動

	〇〇さんに投票を!	〇月〇日〇〇さん演説会!	〇〇政策ってダメだよ	〇月〇日は参議院選挙!
<b>公示前</b>	投票依頼	候補者演説会告知	政策批判	投票促進
ウェブ・SNS	×	×	○	○
電子メール	×	×	○	○
電話	×	×	○	○
<b>公示後</b>				
ウェブ・SNS	○	○	○	○
電子メール	×	×	○	○
電話	○	○	○	○

行内禁止事項とは内閣府の告示による

アンケートより

## 研修報告及び参加者の声



県南1支部 瀬井まり子

選挙公示日を境に、公示前の政治活動と公示後の選挙運動とは「できること」「できないこと」があります。

今回の研修を通して子供の未来の為に選挙や政治のことについて、友人、知人と「語る」「おしゃべるすること」が大切なのだと思いました。

県南2支部 廣末ひとみ

看護師は勤務で選挙に行けないことがある。

期日前投票や不在者投票の活用など呼びかけが大変重要であると、再認識した。

#### 【20歳～29歳の声】

投票が18歳以上になりましたが投票数は減っています。看護学生時代に、政治的な話はあまりありませんので話す機会をもっとあるかな!

#### 【30歳～39歳の声】

政治活動期間・選挙運動期間、それぞれでできること・できないことが全く違うことを知り驚きました。

#### 【40歳～49歳の声】

今日の研修に参加できて、色々と学べて良かったです。選挙活動をする機会もないので分からない事が多く、内容が難しいですが勉強になりました。

#### 【50歳～59歳の声】

インターネット選挙、初めて知りました。政治活動というものを初めて認識しました。看護界の力になって下さる方を広めたいと思います。

## 平成30年度 熊本県看護連盟 リーダー(支部役員・連絡員)研修



H30年9月8日(土)・25日(火)

会場:ホテル熊本テルサ テルサホール

講師:大島敏子先生 前日本看護連盟副会長

NPO法人看護職キャリアサポート

フリージア・ナースの会 会長

目的:連盟活動を理解し、リーダーの役割を果たす  
「現場の声を聴き 伝える力を強めよう」

県北 1 支部 看護師 前田 勲作

私は選挙に興味がありませんでした。それは選挙に行かなくても生活できていたからです。しかし大島先生の話聞きその気持ちが変わりつつあります。夜勤手当の増加や診療報酬改定など看護連盟の長年の活動や実績により看護職が少しずつ、そして確実に働きやすい環境に変わってきているからです。患者さんに寄り添いたいという気持ちだけでは看護師は続ける事ができないと思います。職の内容に見合う給料や十分な休暇など働く上ではとても大切です。看護師は他の医療職と比べると給料は高い方ですが、やがて追い越されてしまいます。患者のケアや精神的な支えとなっている看護師はもっと認められていいと思います。

「ベッドサイドから政治を変える」のスローガン通り看護師一人ひとりが現場から声を挙げる事が大切です。その一歩として私は看護連盟の今までの実績やこれからの活動の必要性を新人や先輩など一人でも多くの人に広め選挙に参加する事の大切さを伝えようと思いました。私自身更なるより良い職場環境を目指して選挙に行こうと思います。

## 平成30年度 県役員・支部役員等研修



H30年10月13日(土)

会場:ホテル熊本テルサ テルサホール

講師:金澤きみ代先生 前日本看護連盟幹事

目的:支部リーダーとして看護連盟の活動をよく知り、  
より充実する

～支部組織の強化・促進を行う～

県南 4 支部 藤村 友子

研修には県役員及び各支部から70名が参加した。前日本看護連盟幹事金澤先生より、前回の参議院選挙の内容も含め「わくわく連盟活動」と題した講義があった。つづいて、「目標達成に向けた私たちの連盟活動」についてグループワークを行った。

看護連盟の役割は看護協会の提言する看護政策の実現の為に看護職を国政に送ることである。政治や選挙に関心がない人に行動変容を起こさせるためには、私たち支部役員などが自分の考えをしっかりと持ち熱意を持って連盟活動の意義を伝えることが重要である。又選挙活動においては県、支部、リーダー、会員が役割を持ち活動することが目標達成に繋がると理解できた。グループワークでも活発な意見交換が行われ、参加した一人ひとりがそれぞれの立場で自らの今後の活動について考えることができたと思う。会員の皆さん一緒に『わくわく連盟活動』始めましょう。



# 我が家のペット自慢

沢山お寄せ頂き有難うございました。



奥:レオン 手前:ソラ

うちの悪ガキ男の子2匹です。



ななおちゃん 5歳 雄

呼びかけると振り向く、ニンジン大好きモルモットです。



スーとチャチャ

捨て犬を一時保護。1匹は里親も見つかり、もう1匹は我が家の一員となりました。



モモ

ミカンとリンゴが大好きな15歳のおばあちゃんワンコです。



茶々丸

散歩が大好き!雨が降るとテンション下がります。

## 「会員の広場」宛

メール:knf043@world.ocn.ne.jp

FAX:096-383-0163

## 「我が家のペット自慢」提供施設

・あおば病院 ・くまもと成仁病院 ・天草病院

ご協力ありがとうございました。

※次の年度(H31年度)のテーマは、「私の趣味」です。写真・名前と一言コメント、投稿者名(ペンネーム)掲載の可否を3月26日までに、上記「会員の広場」にメールでお寄せ下さい。



## ♥ あなたの脳を活性化しましょう ♥

次の文字を並び替えて四字熟語を作ってみましょう。(いらない文字が1つか2つ入っています)

- ① 公正昭大明
- ② 帆風晴順満
- ③ 立援孤軍無
- ④ 平和春秋日小
- ⑤ 心乱一命不
- ⑥ 国語道言断
- ⑦ 公正昭大明
- ⑧ 鬪志我悪苦

(回答は次号掲載)



カンタ君



レンコさん

平成31年度の入会を受けています。

ベッドサイドからの声を国政に反映しましょう!

熊本県看護連盟の  
目標会員は **7,700人**です!

年会費	
日本看護連盟会費	5,000円
熊本県看護連盟会費	2,500円
<b>合計</b>	<b>7,500円</b>

看護連盟会員  
入会状況

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(10月31日現在)
看護協会(人)	15,183	15,426	15,134	15,621
看護連盟(人)	7,473	7,478	7,420	7,331
協会員比率(%)	49.2%	48.5%	49.0%	46.9%

お知らせ

◎熊本県看護連盟OB会

期日：2019年3月16日(土)  
会場：熊本市国際交流会館

◎平成31年度 熊本県看護連盟通常総会

期日：2019年5月25日(土)  
会場：済生会熊本病院

◎九州ポリナビワークショップ

期日：2019年6月29日(土)  
会場：ホテル熊本テルサ テルサホール

LINE@にて情報発信  
はじめます

看護に関するニューストピックだけでなく  
研修案内や政策に関することまで  
日々の現場で役に立つような情報をお届けします!  
下記QRコードより是非登録くださいませ!

QRコードリーダーでスキャンすると、  
このアカウントを「友だち」に追加できます。

徐々に内容の更新をしてまいります。  
皆様にアイデアをお聞きすることもあると思いますが、  
どうぞ宜しくお願いいたします。



日本看護連盟 広報委員会

※2019年春頃より「LINE@」は「LINE公式アカウント」へ名称変更される予定です。

お任せ下さい! 夢100%...心の栄養分  
暮らしのコーディネイト



〒862-0920 熊本市東区月出8丁目3-52

取扱品目

- 羽毛ふとん ●羊毛ふとん
- ダウンジャケット
- シルク緞通
- ムートンカーペット etc

FreeDial 0120-32-2020

編集後記

熊本県庁HPより今年1月17日に、インフルエンザが警告レベルであることが発表されました。皆様、体調はいかがでしょう。年明けより大変だったと思います。平成最後の年、会員の皆様が一丸となって活動できるよう新たな気持ちで頑張りたいと思います。

○広報委員

藤本 有紀 河添真理子 市村 栄子  
園田 孝子 木村 優一 奥村友季子

○担当役員

山本 史恵 岩城まつ子 村上 元子

発行所/熊本県看護連盟

発行責任者  
重松 節美

〒862-0950 熊本市中央区水前寺1丁目29番1号 ナビオ水前寺101号

TEL (096)383-0023 FAX (096)383-0163

印刷所/株式会社 啓文社 電話 096(368)8100